

令和2年度署長査閲（火災防ぎょ訓練）を実施しました

令和3年3月10日、11日、12日の3日間、令和2年度署長査閲（火災防ぎょ訓練）を実施しました。

近年、高気密の木造・防火造住宅の増加から消防隊が火災現場に到着した時点で、火災建物が火災最盛期*に至っており建物内に進入しての消火活動を行う必要があることから、安全確実に迅速な屋内進入を主眼として各隊が訓練してきた成果を発揮することができました。

今後も、様々な災害を想定し訓練を実施することで、安全、確実に、迅速な活動を行えるよう技術の向上を図っていきます。

*建物全体に火が回り、柱や壁の倒壊危険が増大。窓等の開口部から炎が噴き出し、炎や輻射熱で隣接建物への延焼危険が著しく大きくなっている状態。

